



名古屋の環境とフェアトレードのつながり

名古屋では、ごみ問題からはじまり、国際的な会議やイベントの開催など、様々な出来事を経て、世界とのつながりや環境保全活動への意識が高まりました。こうした人々の意識の高まりが、名古屋のフェアトレードタウン認定につながっています。

- 1999年 藤前干潟の埋立計画中止と「ごみ非常事態宣言」の発表
(市民の力でその後2年間に20%の大幅なごみ減量を達成)
- 2003年 自治体環境グランプリ 2003で220万名古屋市民と名古屋市が「環境大臣賞」と「グランプリ」を同時受賞
- 2005年 愛・地球博(愛知万博)の開催
- 2010年 生物多様性条約第10回締約国会議(COP10)の開催
- 2014年 持続可能な開発のための教育(ESD)に関するユネスコ世界会議の開催



2015年 名古屋市がフェアトレードタウンに認定される



世界に、地域に、そして地球環境にフェアで
持続可能な社会を目指して

 FAIR TRADE TOWN NAGOYA

フェアトレードとSDGs

SDGs(持続可能な開発目標)とは、「人間がずっと地球に住み続けられるように開発・発展する」にはどうしたら良いだろう?と国連で考えて決めた17の目標のこと。身近な買い物を通して、生産者や労働者の生活改善と自立を目指すフェアトレードの取り組みは、環境・貧困・人権・平和・開発など地球規模の課題解決に貢献するもので、SDGsが掲げる17の目標のほぼ全てに関係しています。



名古屋市環境局
環境企画部環境企画課

〒460-8508 名古屋市中区三の丸3-1-1 TEL 052-972-2698 FAX 052-972-4134
メール a2662-01@kankyokuyoku.city.nagoya.lg.jp

発行協力/ NPO 法人フェアトレード名古屋ネットワーク (FTNN)

このリーフレットは、古紙パルプを含む再生紙を使用しています。

FAIR TRADE TOWN NAGOYA 2018



フェアトレードタウンなごやの魅力発信



広がり、つながる名古屋のフェアトレード

2015年9月に日本で2番目の「フェアトレードタウン」に認定された名古屋市。認定から3年が経過し、市民・小売店・学校・企業・行政が一体となった、まちぐるみのフェアトレード運動がさらに広がり、つながってきています。



フェアトレードのファッションショー

フェアトレードを学ぶセミナーを開催

フェアトレードタウンなごやを応援する商品も続々登場

環境デーなごや 中央行事 名古屋最大の環境イベントに「フェアトレードひろば」を開設（2016年から）

「秋のフェアトレードタウンまつり in Nagoya TV TOWER」



毎年9月に名古屋の真ん中、久屋大通公園一帯で開催される「環境デーなごや」中央行事。名古屋で最大の環境イベントです。この環境デーにおいて、2016年からテレビ塔下一帯に「フェアトレードひろば」を開設しています。会場内ではフェアトレード製品のファッションショーほか、ステージ発表、マルシェを開催しています。



マルシェには高校生や大学生も数多く出店



フェアトレード・ファッションショー

テレビ塔下のフェアトレード&エシカルファッションショーでは、心地いいアコーディオンとギターの演奏の中、プロのモデルがランウェイを歩く姿に魅了されました。また、地元の大学生は「世界の水辺とフェアトレード」をテーマとした写真をフェアトレードTシャツにエコプリントして、ランウェイを歩きました。（環境デーなごや 2018）

フェアトレードの洋服でオシャレな着こなしを披露



FASHION



■名古屋のフェアトレードの特徴

地球とのフェアトレード

本来は、途上国に対しての貧困削減・国際協力を目的とする「フェアトレード」ですが、名古屋ではそれと同時に、地産地消・地域活性化、国内での仕事の創出など、地域貢献としてフェア（公正）であることも目指しています。水・空気・土・光などに対して謙虚に、未来に美しい地球を残せるフェアな暮らしを送るため、「地球とのフェアトレード」を合言葉にフェアトレードを推進しています。

高校生・大学生による取り組み

名古屋の特徴は、高校生や大学生がフェアトレード活動の大きな原動力となっていること。市内の様々な高校・大学の部活・サークル、あるいは学生が有志で集まり、学生が地元企業に働きかけてフェアトレード商品の開発を行ったり、地域で盛り上げを図るなど、様々な場所でフェアトレードを広める活動を精力的に行っています。



市内の小学校給食にフェアトレード認証製品を使用（2016年から）

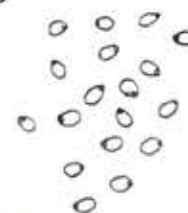
EDUCATION



フェアトレード月間の5月に市内の全小学校でフェアトレード製品を使用した献立を提供しています。2018年はニカラグア産のフェアトレード認証の白ごまを使用した「わかめスープ」が提供されました。給食の前には、途上国の農産物の生産や流通の現状が説明され、児童たちはフェアトレードの仕組みについて学びました。



SESAME SEED



EVENT

市役所でフェアトレードコーヒーを楽しむイベントを開催（2017年から）

11月3日の「文化の日」に毎年開催される、〈歩こう！文化のみち 市役所本庁舎一般公開イベント〉において、フェアトレード・コーヒーガーデンを開催しています。2018年は市役所の駐車場、屋上、正庁に地元名古屋・愛知のコーヒーショップなど16団体が出店したほか、屋上にはフェアトレードのハンモックを設置。フェアトレードコーヒーやスイーツを楽しむ多くの来場者で賑わいました。

EDUCATION

Coffee



～フェアトレードタウンなごやのススメ～ フェアトレードセミナーの開催（2017年から）



フェアトレードで社会の課題を解決しよう！をテーマにセミナーを開催しました。セミナーの中で行われたワークショップでは、途上国の生産地と私たちの地域とがともに活性化し、未来が嬉しくなる方法について参加者みんなで考え、ワークショップで出たアイデアの中には、実際の商品開発へと実を結んだものもありました。

LOGO MARK

フェアトレードタウンなごや応援ロゴマーク運用開始（2018年から）

公募した108作品の中から「世界フェアトレード・デー・なごや2017」の来場者投票により決定したフェアトレードタウンなごやのシンボルマーク。2018年2月には、マークに応援ロゴを組み合わせた「フェアトレードタウンなごや応援ロゴマーク」が完成しました。フェアトレードの理念の普及を、みんなと一緒に進めていくために作成したこの応援ロゴマークは、商品や景品、広告などに使用されています。



マークの使用状況はウェブサイトで紹介中